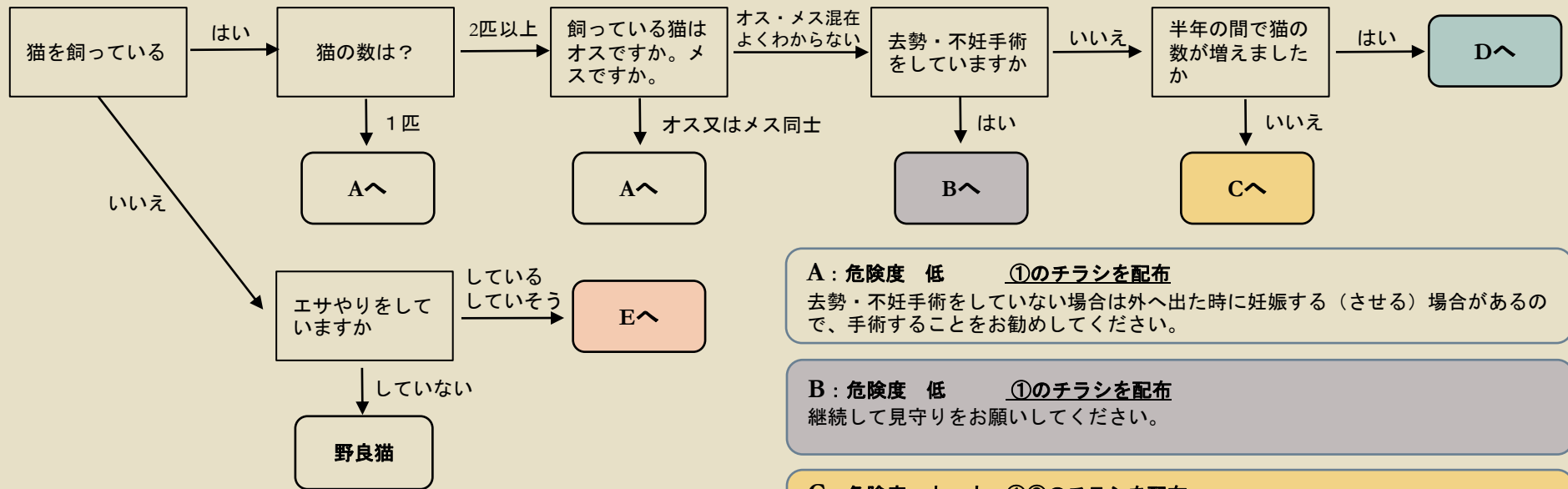


多頭飼育問題危険度判定フローチャート



A：危険度 低 ①のチラシを配布
 去勢・不妊手術をしていない場合は外へ出た時に妊娠する（させる）場合があるので、手術することをお勧めしてください。

B：危険度 低 ①のチラシを配布
 継続して見守りをお願いしてください。

C：危険度 中～大 ①②のチラシを配布
 猫の管理ができなくなると爆発的に増える可能性があるため、去勢不妊手術や雌雄の分別飼育をお勧めしてください。また、定期的な見守りをお願いします。

D：危険度 大 ①②のチラシを配布
 放っておくと多頭飼育問題に繋がります。去勢不妊手術や雌雄の分別飼育をお勧めするとともに、現状確認、飼育指導を行うので動物愛護センターへ御相談ください。

E：危険度 大 ①②③のチラシを配布
 放っておくと爆発的に増える可能性がありますので、動物愛護センターへ御相談ください。

このフローチャートを使うことで、多頭飼育に陥る危険度を確認してください。問題に発展する前に、進行を止めるための啓発や関係機関に相談することが大切です。

配布いただくチラシの種類
 ①「猫は室内で飼おう！」②「不妊去勢手術をして飼いましょう」③「無責任に餌をあげるのはやめましょう」

多頭飼育問題とは？
 多数の動物を飼育している中で、適切な飼育管理ができないことにより、3つの影響（①飼い主の生活状況の悪化、②動物の状態の悪化、③周辺的生活環境の悪化）が生じている状況をいいます。